

2021年度 第44回 全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会水球 【戦評】

会場：千葉県国際総合水泳場

【2022/3/30】

この試合のプレー集計

**C決勝**

京都踏水会 14

4	—	0
2	—	2
3	—	3
5	—	2

7 山口水球クラブ

審判:

中村 友美  
原 汐音

京都踏水会	25	SH数	20	山口水球クラブ
	5	速攻数	0	
	11	ST・SB	5	
	9	SH・P誘発アシスト	2	
	36%	GK阻止率	26%	
5	EX反則数	1		

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
京都踏水会	76	60	11	8	46	47	14	10	10	64.3%

(5試合計)

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
山口水球クラブ	66	39	11	17	25	28	7	8	18	37.9%

(5試合計)

【試合の流れ】

12月の桃太郎カップ決勝と同一カードとなったC区分決勝戦。桃太郎カップでは、京都22-16山口とやや大味な試合となったが、今大会でも京都踏水会の得点力ははずば抜けていて、山口としてはどれだけ失点を抑えることができるかが試合のポイントになる。特に京都の②城之下や⑦大前の力強いシュートをどう防ぐかが見どころ。そのためには京都④中井、⑥山本といった中盤選手からの前線へのパス出しをどれだけ防ぐかがカギを握っている。山口③三田らの強力シュートでの得点は見込めるだけに、山口の守備力が勝負の分かれ目。

1P

先制したのは京都踏水会。センター位置で⑦大前が決め、さらに⑦大前が退水を誘発してそこを②城之下が決め、さらに②城之下は山口GKの動きを読んでシュートを決めるなど、攻撃力で上回る京都踏水会がゲームの主導権を握って、京都踏水会4-0山口でピリオド終了。

2P

山口は開始早々、シュート力のある③三田がトップ位置から決めて1点を返すと、②坂東が右45°からのシュートで2点目をあげるが、京都踏水会側の前線への攻撃は力強く、すかさず加点してこのピリオドもリードを許さず、京都踏水会6-2山口水球で前半を折り返した。

3P

京都踏水会⑦大前が豪快なバックシュートで7点目をあげて余裕の展開に。山口も直後に③三田などで返すが、シュートミスで京都踏水会に突かれる形でなかなか優位な状況を作れずに、第3ピリオド終了(京都踏水会9-5山口水球)。

4P

ピリオド開始直後に京都踏水会②城之下が決めて10点目。山口も②坂東が豪快な6mバックシュートを決めるなど、双方、ややディフェンスが甘くなった形で点数の取り合いに。ピリオド中盤からは京都踏水会が余裕の連続得点で試合を決めた。

山口は桃太郎カップに続いて敗れた形だが、試合中盤での互角な戦いができるだけに、序盤や終盤での試合運びに課題を残した。